

今年も無病息災を願って

笑顔で豆まきを行いました！

喜らめき銀河タイムス



社会福祉法人 溪仁会 経営理念

- 一. 安心・安全
- 二. 信頼・満足
- 三. 地域に貢献

両施設では、今回も職員が鬼に扮して豆まきを行いました。全国的に2月3日の節分には、豆まきをする地域が多いですが、西日本の一部では、魔除けとして節分鰯（いわし）を飾る地域もあるようです。これは柊鰯（ひいらぎいわし）ともいわれ、焼いた鰯の頭に柊を突き刺したものを飾るそうです。

合計5つの雛人形をあちらこちらに飾りました



2月中旬、きもべつ喜らめきの郷・るすつ銀河の杜では合計5つ（だんだん増えてきました）の雛人形が飾り付けられました。

当日は職業体験に来ていた留寿都高校生にも手伝ってもらい、和気あいあいとした雰囲気の中でご利用者と一緒に飾り付けを楽しみました。

きもべつ喜らめきの郷の正面玄関には、親王飾りと立ち雛が飾ってあります。立ち雛は、その名の通り、立ち姿の雛人形で一般的な雛人形の起源とも言われているそうです。



きもべつ喜らめきの郷、正面玄関の入り口付近。いつも面会に来られた皆さんに、うがい・手洗いをしていただいている洗面台の横に飾りました。

今年の片付けは、啓蟄（けいちつ）の日でもある、3月6日を予定しています。短い期間ですが、面会の際、ぜひご覧ください。

感染症対策に関するお知らせとお願い



今年度の感染症研修（実技）の様子

だいぶ暖かい日も増えてきましたが、まだまだインフルエンザやノロウイルスに代表される感染症のリスクが高い時期が続きます。当施設では、施設受付前と各ユニット入り口付近にマスクと消毒を設置していますので、面会時にはうがい・手洗いのほか、手指のアルコール消毒にご協力をお願いしております。

また、発熱や咽などのかぜ症状のある方は面会を控えていただけますよう重ねて、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。